

教祖 140 年祭活動 北海道教区スローガン

『すべてよろこび

すべておたすけ

北海道教区』

年祭活動の要は教祖ひなごたの実践

与えて喜ぶ親の姿があたすけであり

生活すべてがあたすけであります

日常に起きる酸いも甘いも

すべてが天の与えであり

その与えを喜ぶことが

ひなごたの実践となります



第 579 号

発行所

天理教北海道教務支庁
札幌市中央区南 8 条西 11 丁目
電話 011 (561) 1148
FAX 011 (561) 1190
E-mail: tenrikyo.hk@gmail.com
ホームページ
https://tenrikyohk.com

北海道教区

『一手一つ お願いづとめ』

教祖 140 年祭活動の一つとして「お願いづとめ」をつとめさせていただきます。管内がおつとめに込める思いを深め、それぞれの教会が順調に年祭活動を進めることができますよう、また、世界情勢が安定することを願ってつとめさせていただきたいと思えます。

実施日、実施時間は毎月の支部長会議日の午前 9 時より教務支庁神殿にてつとめさせていただきます。

期間は、今月 8 月 2 日〜立教 189 年 1 月まで。

全道で合わせて参拝出来ますよう同時刻にインターネットを通じ配信いたします。教区ホームページよりアクセス出来ます。支部長先生はじめ多くの教会、ようばく信者の皆様の力を結集したいと思えます。



教区ホームページ

やまびこ会

やまびこ会（藤野充普代表）では 7 月 19 日、教務支庁にて、布教師のつながりを深め合い、にをいがけを応援する会「やまびこ会」の新たな活動を開始した。

開会のあいさつに立たれた教区長先生は、約 20 年前の「やまびこ会」発足の経緯について説明の上、にをいがけ活動が継続的かつ日常的な信仰実践となり、本会が「にをいがけを支援したい」という会の目的を達成できるように、みなさんと共に作り上げて行きたいと話された。



副寮長の教話

参加者は、にをいがけの意義を学んだ後、「訪問時の対応」というテーマで戸別訪問を想定し、訪問先の方の気持ちを考え、こちらがどう対応してゆくことで、よりよく戸別訪問を続けられるかのコツを探りつつ、二人一組になってシミュレーションを行い、心と体の準備をしてから、実際に教務支庁周辺家庭のにをいがけに向かった。



2人1組でシミュレーション

今回受講された方の感想では、「布教経験や回数が圧倒的に足りないということを感じ、少しずつでもにをいがけに出たいと思う。」
また、「信仰者としての日々を

北海道教区のホームページ <https://tenrikyohk.com> で教区報がご覧頂けます

教区婦人会(奥村とう子主任)では、7月2日、教務支庁にて29名が参加し支部主任講習会を開催した。

開講に際し教区長先生から、年祭活動の北海道教区スローガン『すべて喜びすべておたすけ北海道教区』を掲げたので、

婦人会 『支部主任講習会』

次回開催は、HPより案内いたします。
(代表 藤野充普)

勇んで通りたいという思いから、にいがけやおたすけを学んでみたいという理由で参加した。」と述べられ、さらには是非教区で布教合宿をしてほしいという熱意あるご要望をいただいた。

「やまびこ会をきっかけに、にいがけ活動の火種が道内各地に広がることを期待すると共に、一緒に考えて作り上げてゆくやまびこ会となることを目指して行きたいと思えます。」



戸別訪問



婦人会 受講の様子

「行事をすることだけが活動」と思わずに支部内委員長さん方お一人おひとりと細やかに心をつないで、共々に育つ工夫を心掛けて頂きたい。」と挨拶があった。



受付で検温

山田常任委員は、「全支部主任の参加は難しかったけれど、21支部の参加があり、久しぶりであったり、初めての顔合わせであったり、皆さんいきいきと参加して下さいました。グループトークでは思い切り笑い、楽しい時間を過ごし、良いお話をたくさん聞かせてもらい、支部主任としての自覚を強く持つことができました。支部内で工夫しながら心をつないで、勇んで婦人会活動をすすめていきたい

その後グループワークに移り、ゲーム要素を取り入れた手の体操でリラクセス。互いに自己紹介しながら和気あいあいと自由トークや各支部の活動について情報交換が行われた。

プログラムでは、婦人会本部作成のDVDを視聴し、仙臺大教会長・宮城教区長、加藤元一郎先生のお話では、「御用は神様から意味があつて与えていただいているのであつて、御用を通して、たすけていただいている。」との事をわかりや

婦人会支部主任講習会の動画 →

7/9 の函館支部 ← 婦人会総会

「と思いました。」と感想を述べた。新体制となり、親しみのある教区婦人会を目指しております。対面による活動の喜びを改めて感じ合える機会となりましたので、是非支部活動の上にもお役立て頂けたらと存じます。



室蘭会場



釧路会場

学生担当委員会 『ひのきしんウォークラリー』

学生担当委員会(高橋清彦委員長)は、7月3日14時より札幌、室蘭、函館、釧路の4会場でのひのきしんウォークラリーを実施し、4会場で49名が参加。

ひのきしんウォークラリーとは、一般にされているウォークラリーの中に、お道にふれてもらう事、また楽しみながらひのきしんをコンセプトにした行事で、この度はゴミ拾いウォーク



函館会場

「コロナ禍になってから約 2 年ぶりに教務支庁に集まっただけの開催ができました。学生さん達の笑顔や楽しんでる姿を見て本当に開催できて良かったと思



教務支庁会場



天理教札幌北西支部総会

「コロナ禍になってから約 2 年ぶりに教務支庁に集まっただけの開催ができました。学生さん達の笑顔や楽しんでる姿を見て本当に開催できて良かったと思

支部総会

「コロナ禍になってから約 2 年ぶりに教務支庁に集まっただけの開催ができました。学生さん達の笑顔や楽しんでる姿を見て本当に開催できて良かったと思

「コロナ禍になってから約 2 年ぶりに教務支庁に集まっただけの開催ができました。学生さん達の笑顔や楽しんでる姿を見て本当に開催できて良かったと思

「コロナ禍になってから約 2 年ぶりに教務支庁に集まっただけの開催ができました。学生さん達の笑顔や楽しんでる姿を見て本当に開催できて良かったと思

日高支部総会

「コロナ禍になってから約 2 年ぶりに教務支庁に集まっただけの開催ができました。学生さん達の笑顔や楽しんでる姿を見て本当に開催できて良かったと思

「コロナ禍になってから約 2 年ぶりに教務支庁に集まっただけの開催ができました。学生さん達の笑顔や楽しんでる姿を見て本当に開催できて良かったと思

「コロナ禍になってから約 2 年ぶりに教務支庁に集まっただけの開催ができました。学生さん達の笑顔や楽しんでる姿を見て本当に開催できて良かったと思



日高支部 開式前の様子

災害救隊 『室蘭支部隊出動』

室蘭支部災害救隊（加藤三夫隊長）では、6月18日～7月29日まで、支部管内お戻し教会の解体作業を実施し、延べ80人が出動した。

このことは、先の支部例会でお戻し教会の解体を災害救隊で支援してはどうかとの話しとなり、早速、支部災害対策委員会で了承され出動することとなった。

解体作業は、梁や柱を移動する時のみ重機を使用し、ほとんどが手作業で行われた。当初は、6月末に終了予定としたが、雨天と手作業に時間を要し、今月まで作業期間が延びたが、無事作業を終えることが出来た。

また、室蘭支部では、2年前より有珠山の噴火による災害対策について、定期的に会議を開



命綱を付けて安全確保での作業



剥がしたトタンの片付け

き、洞爺湖町役場に出向きながら、災害時の連携を確認し、防災訓練なども積極的に実施している。こうしたことから、防災に対する意識の高さも、この度の出動を後押しした形である。「解体は、ほとんどが手作業での取り外し、期間中、大きな事故やケガがなく、つとめさせてもらえた事がなにより、ありがたかったです。」と加藤隊長が語ってくれた。

各地の動き

●上川支部

世界事情終息祈願祭

上川支部（白鳥道之支部長）では、7月9日午後1時より支部内教会長夫妻および役員ら24名が参加して、永山分教会を会場に、猛威を振るうコロナ禍、

ロシアによるウクライナ侵攻等、世界にお見せいただきたい事情の一刻も早い終息を願って、座りつとめ、てをどりを勇んでつとめ、終息祈願祭を執り行った。

年度が変わり、今年の活動計画を相談する時期にコロナの感染が比較的落ち着いており、かつ世の中は感染拡大に留意しつつ社会経済活動を推し進めるとの流れの中で、何とか支部総会を実施できないか、いや実施したいとの声があがり、種々協議の結果、人を寄せて密になる事を避けるために参加者を支部内教会長夫妻および役員に限定して実施する事に決まった。しかし参加者限定では支部総会とは言い難く、どのような名称が相応しいかねりあつた結果、今世界に見せられている大きな事情の一刻も早い終息を願う祈願祭にと決した。

当日は支部長が終息祈願の祭文奏上の後、鳴物の調べも高らかに勇んで座りつとめをつとめた。

コロナ禍で参拝者が減る中、多くの教会で手が足りない月次祭がつとめられている状況で、鳴物もすべて揃ったお教え通りのおつとめを久々につとめさせていたでいて、「心勇んだ」との声しきりであった。
(支部社友大矢光司)

新教会長さん紹介

(令和4年6月26日お運び)

苦小牧支部 苦小牧分教会(洲本)

奉告祭 9月3日



吉田 正徳 氏 63 歳

十勝支部 新得分教会(雨龍)

奉告祭 9月11日



清野 欣伯 氏 45 歳

北海道教務支庁日誌抄

7月2日 支部長会議

婦人会支部主任講習会

4日 札幌中南支部例会

5日 教区長

9日 札幌北西支部総会出席

9日 教区長 網走支部総会出席

13日 札幌北西支部婦人会

庁舎窓拭き

25日 教区長会議

運営委員会議



札幌北西支部婦人会

26日 本部月次祭選擇式

主事会議

けいじばん

◎法律に関わる諸問題でのご相談の方は弁護士を紹介致します。

教務支庁書記・渡部までご連絡下さい。

◎毎月26日に本部月次祭選擇式を午前10時より行っています。

計報

立教一八五年・令和4年

・富山 敦雄様 7月2日出直(70歳)

元北海道教区主事

元南空知支部長

栗山分教会副会長 (南空知支部)

・松枝 隆安様 5月4日出直(90歳)

旭豊上分教会長 (上川支部)

・岡部つとめ子様 6月3日出直(95歳)

拓北分教会副会長 (札幌白豊支部)

・高橋三三夫様 6月17日出直(98歳)

上磯分教会副会長 (渡島支部)

・山口 善道様 6月23日出直(92歳)

歌節分教会副会長 (日高支部)

・澤崎 正廣様 6月25日出直(86歳)

越道分教会副会長 (札幌中南支部)